

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第53期一般幹部候補生課程の入校式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程に入校される皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。

皆様は、この伝統ある幹部候補生学校にめでたく入校され、本日より、海軍兵学校の時代から、国防を担う有能な精鋭が集う教育の聖地において、練成訓練を受けることとなりました。

我が国の将来を担う皆様をお迎えすることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心より歓迎を申し上げます。

さて、先ほども申し上げたとおり、新しい天皇陛下が御即位され、元号が平成から令和へと改められました。この「令和」とは、日本最古の歌集「万葉集」から引用されています。新しい元号の発表に際して安倍首相は、「一人一人の日本人が明日への希望と共にそれぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたいとの願いを込めて決定した」との談話を発表されました。我が国を取り巻く安全保障環境は、常に変化し続けています。そうした中、自衛官の皆様が、日本国民のため、明日への希望を守り、それぞれの花を大きく咲かせるために、日々精進されているその姿は、まことに頼もしく、我々国民の誇りであると思っております。

皆様御存知のとおり、ここ江田島は、明治21年に、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、江田島市は、海上自衛隊と共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」や「絆」を大切にしてきた地でございます。

ここ海上自衛隊は、教育施設でありながら、年間約6万人の観光客を受け入れていただくなど、近代日本の歴史や、先の大戦を通じた平和の尊さを学ばせていただく、私達江田島市民の誇りとなっております。

今後とも、皆様が江田島での生活を送る中で、市民との絆がより強固なものになるよう強く願っております。

本市は四季折々の美しい自然に囲まれ、秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれております。四季折々には様々なイベントが催されており、来週15日、16日には、体一つで海・シートゥーサミット里・山をめぐるスポーツイベント「Sea to Summit」が開催されます。厳しい訓練の合間にはこうした地域の催しにも御参加頂き、恵まれた自然や豊かな人情に触れ合いながら、江田島市の「縁」を紡ぎ、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思っております。

どうか皆様には、くれぐれも健康に留意していただき、全員元気な姿で卒業の日を迎え、幹部自衛官として、国民の信頼と期待に応えるべく活躍されることを切に願っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして御入校される皆様並びに御家族の皆様、御臨席の全ての皆様の、御健勝と更なる御活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和元年6月6日

あき おか しゅう さく  
江田島市長 明 岳 周 作